日本共産党 西宮市会報告
2012年10月　NO.91

発行/ 日本共産党西宮市会議員団　西宮市六湛寺町10番3号（西宮市役所内）
Eメール：nmc30547@nishi.or.j　TEL.0798-35-3368　FAX.0798-22-7815
ホームページ　http://nishinomiya.jcp giin.net/

# 財政の「余裕」は明らか
# 市民の願い実現に奮闘

## 9月議会

8月30日から開かれていた9月議会が9月28日閉会しました。

9月議会では2011年度の決算審査が行われましたが、党議員団は新年度の予算編成に活かすという立場で奮闘しました。

2011年度は直前に東日本大震災と福島原発事故が起き、防災計画の見直しや原発に対する態度が問われることになりました。国民の8割が原発ゼロの日本を求めていますが、河野市長は、今に至っても原発撤退との明確な立場をとっていません。

決算では、一般会計・特別会計合わせて42億円の黒字となり、実に33年連続の黒字決算となりました。基金も前年度の138億円に22億円積み増して161億円に。阪神淡路大震災後に抱えた借金も着実に減らしており、無駄遣いさえしなければ市民の要求を実現する財政力はあることが明らかになりました。

決算の特徴は、保育所整備などで待機児童の解消が一定進み、わかば園の移転建て替えの具体化、住宅リフォーム助成制度が産業振興計画に盛り込まれるなどの前進面があった一方、財政に余裕のあるこの機にと、土地開発公社の塩漬け土地などを64億円で市が買い取って、バブル期の負の遺産を一気に清算するなどが行なわれました。

党議員団は、今後予定されているアサヒビール跡地の活用については市民の意見を充分聞いてすすめることと、公契約条例の早期制定、盤滝トンネルのさらなる無料化前倒しなどを求めて奮闘しました。

## 小学校へのエアコン整備
## 2015年夏にも実施へ

全中学校へのエアコン整備が2013・14年度で実施されますが、小学校への整備時期が未確定のままとなっており、今議会、新日本婦人の会西宮支部から「小学校に一刻も早くエアコン設置を」と請願が提出され、日本共産党市議団が筆頭紹介となりました。

請願者を代表して陳述された1年生の子どものお母さんは「毎日ランドセルを背負い、たくさんの荷物を持って登校。学校に着くと汗だくのまま、エアコンのない教室での学習は集中できない」と切々と訴えられました。

結果は継続審査となりましたが、審議の中で市教委は「2015年の夏休みに設置工事にかかれるように、関係部局と協議、準備を進めている」と答弁。さらに教育委員会決算審査でも、単年度で一気に実施するための手法にも触れながら「来年度予算の実施計画ヒヤリングの中で方向性を出す」と、非常に前向きな答弁がありました。

体力の弱い小学生に、一刻も早く快適な学習環境を整えることは行政の責任です。早期に単年度でエアコン整備が実現するよう、引き続きがんばります。

## 水道料金体系の見直しの方向へ

水道事業会計では760万円の赤字ですが、依然資金余裕（留保金）は26億円と高額に。今後は施設の統廃合などによる経費の減や、鯨池浄水場跡地の売却などで大幅な増収も見込めることから、水道料金の引き下げを求めました。

さらに、審査の中で、実際の水道使用量に応じた料金体系に変更する自治体が増えていることを明らかにし、1ケ月あたり10㎥までは使用量に関係なく定額の料金となる、現在の基本料金制の見直しも求めました。これには、「料金体系の見直しは大きな検討課題である」との答弁がなされました。

## お気軽にご相談ください

**杉山たかのり**
団長
建設常任委員長
☎35―1682

**野口　あけみ**
幹事長
総務常任委員
議会改革特別委員
☎34―7329

**上田　さち子**
市民文教常任委員
病院問題特別委員
☎35―2813

**佐藤　みち子**
厚生常任委員
☎42―2856

**まつお　正秀**
農業委員
建設常任委員
☎73―0775

# 一般質問

# 「いじめ」問題 命を守れる学校に

佐藤みち子議員

佐藤みち子議員は、大津市で中学2年の男子生徒が自殺し、学校や市教委の対応が責任逃れ・真相隠しではないかとの批判が全国から寄せられ、社会問題となっている「いじめ」問題で質問しました。

いじめを未然に防止するためには、①少人数学級にして教師の目が一人ひとりの子どもたちにいきわたる様にすること。②教師を増やし子どもと向き合う時間を確保すること。③競争や管理主義の詰め込み教育をやめ、年齢に応じた教育内容にすることが大事だと指摘。

市教委は、いじめはどの学校にも起こり得ることであり、その兆候の早期発見と解消に努めることが大切とした上で、学校現場では日頃から子どもとのふれあいの機会を多く持ち、時間をかけて子どもの話を聞き、思いをしっかり受け止め、それに基づいた指導に努めると答弁しました。

佐藤議員は、そのためにも市独自で少人数学級、教員増員を実行せよと再度強く要望しました。

# 民間保育所1、2歳児も 保育士配置基準を5対1に！

次に佐藤議員は、12月議会に条例提案される保育所最低基準について質問。現在、公立と民間保育所では1、2歳児の保育士配置基準に、公立は5対1、民間は6対1と、格差があります。佐藤議員は、民間保育所は30年前からこの格差是正を要望しており、条例化にあたっては解消すべきと強く指摘しました。

市は、「解消すべき課題だ」と答弁しました。

# 「尖閣諸島・竹島・全千島は日本の固有の領土」と本会議で討論

西宮青年会議所から「学習指導要領に基づき、我が国の領土領海に関してより丁寧な指導がなされることを望む請願」が提出されました。

日本共産党市議団は、①日の丸・君が代を教育現場に強制する学習指導要領を前提としていること　②政治的な意図をもって教育に介入することは問題である等の理由から請願に反対し、いま、領土問題が大きな問題となっていることから、日本共産党の見解を明らかにしながら討論を行いました。

まず尖閣諸島と竹島は、歴史的にも国際法上も日本の領土であること。また北方４島のうち歯舞島・色丹島は北海道の一部であって直ちに返還を求めるとともに、国後島及び択捉島を含む全千島列島は、日本とロシアとの「樺太・千島交換条約」により日本の領土であることなど、歴史的経過も含め明らかにしました。

いずれにしても、歴代の政府がまともに外交努力をしてこなかったことが、今日の事態を招いていることから、全力をあげた対応を最後に求めました。（討論全文は、日本共産党西宮市会議員団のホームページでご覧いただけます）

# 「住み続けたい」の声にこたえよ！ UR借り上げ市営住宅

杉山たかのり議員

一般質問にたった杉山たかのり議員は、まずUR借り上げ住宅問題で質問。

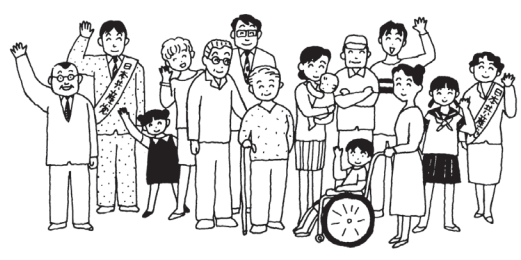
市の方針は、URから借り上げた市営住宅を20年間で返還、入居者を他の市営住宅へ募集で住み替えさせるもの。

杉山議員は、「入居者アンケートでは高齢などの理由で転居できないと26％が回答しており、住み替え募集の方針は破たんしている」「国会では入居者の希望を充分踏まえることが必要と答弁している」とし、入居者のここに住み続けたいという切実な「市長への手紙」を読み上げ、入居者の現状に即した返還以外の方策の検討を求めました。

市は「大臣の答弁に添いつつ丁寧に対応する」と言いながら、かたくなに返還の方針に固執する答弁に終始しました。

## 名神湾岸連絡線 住民にメリットなし

次に、杉山議員は名神湾岸連絡線について、「西宮市が兵庫県等と連名で早期に計画の具体化を図るために、計画段階評価の開始を求めているが、地元にメリットはなく、住環境に悪影響がある」と述べ、国への要望はやめるべきだと質問。

市は、「名神高速道路の西宮Ｉｃ利用３万７４００台のうち、阪神高速湾岸線へ流れる交通量は２３００台」「事業効果等を明らかにするためにも要望する」と答弁。

杉山議員は、わずか２３００台、６％のために名神と阪神高速湾岸線を高架でつなぐ必要はないと市の姿勢を批判しました。